

広島市代表団のロシア・ボルゴグラード市派遣結果について（帰国報告）

1 概要

本市とボルゴグラード市は、昭和 47 年の姉妹都市提携以来、代表団の相互訪問、ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催、経済セミナーの開催など、平和、経済、文化など幅広い分野での交流を積み重ねてきた。

平成 24 年度は、姉妹都市提携 40 周年の大きな節目を迎えることから、両市の友好親善の一層の促進の契機とすることを目的に、ボルゴグラード市で開催される記念行事等に出席するため、本市代表団を派遣した。

2 訪問日程

平成 24 年 9 月 6 日（水）～ 11 日（火）4 泊 6 日（詳細は別紙 1 を参照）

3 代表団の構成（8 名）

松井市長、種清議長、谷口議員、ヒロシマ・メッセンジャー 2 名（山田英雄、中西利恵）、随員職員 3 名

4 主要用務と成果

(1) 9 月 7 日（金）

ア 第 5 中等学校訪問

今年ボルゴグラード市において開催された広島市との姉妹都市提携 40 周年を記念するイベントに参加した学校の一つである、第 5 中等学校を視察した。

副校長から学校の概要説明等を受けた後、ホールで、生徒たちによる広島の文化、歴史に関する研究発表やロシアの伝統舞踊などのパフォーマンスが行われた。代表団からはヒロシマ・メッセンジャーの 2 人が広島を紹介するプレゼンテーションを行ったほか、学校側から日本の歌を生徒に聞かせてもらいたとのリクエストを受け、松井市長が童謡「ふるさと」を生徒たちに披露するなどして本市や日本の文化、芸術などを紹介した。

また、校内では、ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展が行われており、今後も一定期間掲示した後、他の学校でも展示するなどポスターを活用する予定とのことであった。

その後、代表団の訪問を記念した植樹式が行われ、松井市長及び種清議長がカエデの木を校庭に植樹した。



ヒロシマ・メッセンジャーのプレゼンテーション

イ スターリングラード攻防戦パノラマ博物館視察

1942年スターリングラード攻防戦での爆撃を受けてかろうじて残った旧製粉所の隣につくられた博物館で、同博物館には、昭和60年に本市が寄贈した「平和の鐘」も展示されている。松井市長を始め代表団は、非常に熱心に展示品についての説明に耳を傾け、館内を視察した。

また、館内には代表団の訪問に合わせて、ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展が行われており、今後も一定期間展示を継続する予定とのことであった。



ヒロシマ・ナガサキ原爆ポスター展

ウ ボルゴグラード市長との会談

ボルゴグラード市役所を訪問し、ヴァレリイ・デニソヴィチ・ヴァシルコフ市長と会談を行った。松井市長は、11月に本市で開催予定の「ボルゴグラードの日」に合わせたボルゴグラード市代表団の本市訪問を要請したほか、近隣都市に対する平和市長会議加盟呼びかけへの協力要請などを行った。



ボルゴグラード市長との会談

また、会談前に立ち寄った「ヒロシマ通り」に広島の植物を植えるというアイデアをヴァシルコフ市長に提案した。

約1時間の会談終了後、地元メディアによる松井市長へのインタビューが行われた。今後のボルゴグラード市との交流についての質問に対し、松井市長は、「今回ボルゴグラード市長とお会いして両市の友好関係が今後も続いていくものと確信した。」と述べた。

エ 広島とボルゴグラードに関するプレゼンコンテスト授賞式

ボルゴグラード市などが実施した、高校生と大学生を対象にした広島とボルゴグラードの姉妹都市関係に関するプレゼンテーションコンテストの授賞式が行われ、本市代表団も出席した。

コンテスト最優秀者が広島とボルゴグラードに関するプレゼンテーションを行った後、松井市長、種清議長から最優秀者に対し、広島市からの記念品を添え、ボルゴグラード市が準備した賞状を授与した。



コンテスト最優秀者によるプレゼンテーション

また、代表団からはヒロシマ・メッセンジャー（山田英雄）が広島に関するプレゼンテーションを行った。

オ ママエフの丘戦没者慰霊堂で献花

第二次世界大戦の戦没者を祀ったモニュメントや慰霊堂が建つメモリアルとなっているママエフの丘を訪問し、戦没者慰霊堂で献花を行うとともに、スターリングラード攻防戦を記念して建てられた巨像、「母なる祖国像」などを視察した。

(2) 9月8日(土)

ア 伝統舞踊学校「ボルジャーノチカ」訪問

設立30年以上の舞踊学校であり、海外での公演実績もある伝統舞踊学校「ボルジャーノチカ」を視察した。

松井市長は、学校の指導者から概要等説明を受けた後、生徒たちが披露するロシアの伝統舞踊などを鑑賞した。

その後、ヒロシマ・メッセンジャー(中西利恵)が、生徒やその父兄に対し、佐々木禎子さんのエピソードを紹介するとともに、折り鶴の作り方を説明し、代表団と生徒全員が一緒になって折り鶴を作成するなどして交流を図った。



生徒から折り鶴をプレゼントされる様子

イ ボルゴグラード「市の日」記念行事参列

9月第2週の週末は、ボルゴグラード市の創設を祝う「市の日」に当たっており、この「市の日」記念行事として、スターリングラード攻防戦パノラマ博物館において、ボルゴグラード市民に対する名誉市民称号の授与式、ボルゴグラード市とフィンランド・ケミ市との交流協定の再提携の調印式が行われた。本市代表団も、ボルゴグラード市の姉妹都市である、ケミ市(フィンランド)、ディジョン市(フランス)、ケムニッツ市(ドイツ)、ガジエミル市(トルコ)から来訪している各都市の代表団などとともに、これらの行事に参列した。

なお、ボルゴグラード市は、1589年の創設から数え、今年で423年目を迎える。

ウ ボルゴグラード市長主催船上レセプション

ボルガ川遊覧船の船上で、ボルゴグラード市長主催のレセプションが行われた。この機会をとらえ、松井市長は、ボルゴグラード「市の日」に合わせて来訪している同市の姉妹都市の代表団のうち、平和市長会議に未加盟のケミ市(フィンランド)、ガジエミル市(トルコ)の代表団に対し、平和市長会議への加盟要請を行った。

また、同じく乗船していたThe Union of Russian Cities(ロシア都市連合)の関係者に対し、ロシア国内における平和市長会議への加盟促進への協力を要請するなど、平和市長会議に関する活動を積極的に行った。

(4) 9月9日(日)

ア 交歓会

ボルゴグラード市議会の議場で行われた交歓会に、ボルゴグラード市の他の姉妹都市の代表団などとともに参加した。

ヴァシルコフ市長、市執行役員が歓迎の挨拶を述べられた後、松井市長を始めそれぞれの代表団の代表者が挨拶を行ったほか、記念品の交換が行われた。

松井市長は挨拶で、ボルゴグラード市に対し、世界恒久平和の実現に向け、引き続き平和市長会議の活動への支援をお願いしたい旨述べた。



交歓会出席者との記念撮影

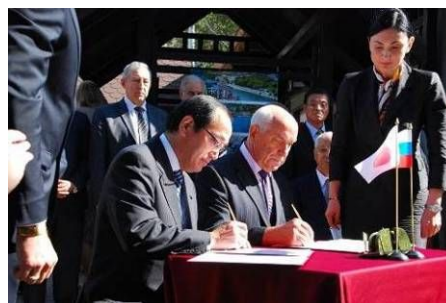
イ 姉妹都市提携40周年記念式典

式典は、平成14年(2002年)に広島市・ボルゴグラード市の姉妹都市提携30周年記念事業として中央公園内に整備された日本庭園で行われ、ボルゴグラード市の他の姉妹・友好都市の代表団にも参列していただいた。

式典では、松井市長、ヴァシルコフ市長、種清議長、ソバカル市執行役員がそれぞれ挨拶した後、両市の友好関係に関する確認書(別紙2)への署名が行われた。

約130人程度の出席のもと、地元小学生が日本の歌を披露した後、本市代表団に自分たちの作った折り鶴を贈呈したほか、老人クラブの方々からも折り鶴が贈呈されるなど、他都市の代表団からは、心温まる式典だったとの言葉もいただいた。

式典後、松井市長は地元メディアから取材を受け、「ボルゴグラード市の皆さんに温かく迎えていただき、今後50年、60年と両市の友情が続いていくものと確信した。これからは文化、芸術などの分野でも交流が進むことを期待する。」と述べた。



両市長の確認書への署名

ウ ボルゴグラード市の The Flag of Honour 受賞記念行事

ボルゴグラード中央埠頭において、ボルゴグラード市に対する The Flag of Honour の受賞記念式典が行われた。

The Flag of Honour は、欧州の連帯を積極的に推進する自治体を表彰するため欧州評議会議員会議が設けている4つの表彰制度の一つであり、2012年はボルゴグラード市を含め17の自治体が受賞している。

受賞記念式典に先立ち、ボルゴグラード市が The Flag of Honour を受賞したことを記念して作成された郵便のスタンプ(消印)をお披露目するイベントが行われ、本市を始め参加した代表団に対し、受賞を記念して作成されたスタンプの押された封筒が記念品として贈呈された。

受賞記念式典では、ロシアの伝統舞踊や若者によるダンスや歌など様々なパフォーマンスが行われ、盛況のうちに終了した。

5 まとめ

- (1) 40周年の節目を迎え、両市の友好関係を改めて確認したことに加え、今後の交流を深めるための協議を行うことができた。ヴァシルコフ市長からも11月には本市をぜひ訪問したいとの意向を示され、両市間の相互理解と友好親善が今後より一層深まっていくものと考えている。

また、ヴァシルコフ市長とは、公式行事のほか、夕食会や昼食会など様々な場面で話をする機会に恵まれたことから、公私にわたる話題で意見を交換し、互いの理解を深めることができ、強い信頼関係が築かれた。

- (2) 両市の行政レベルの交流に加え、ヒロシマ・メッセンジャーからボルゴグラード市の市民に対し、市民の視点で広島を紹介してもらったことにより、ボルゴグラードの市民の方々に本市をより身近に感じてもらうことができた。
- (3) 加えて、ボルゴグラード市を来訪していた同市の姉妹・友好都市やロシアの自治体連合である The Union of Russian Cities の関係者に対して平和市長会議への加盟要請等を行うことができたため、ボルゴグラードとの姉妹都市関係を起点に、その姉妹・友好都市やロシア国内へと平和市長会議への加盟が広がっていくことが期待できる。